

2



知ろう、決めよう



地域の危険を
知ろう
24ページ



家族で
決めておこう
34ページ



1 地域の危険を知ろう



いざというときの対策は、身の周りの危険を知ることから始まります。危険な場所は災害によってさまざまです。状況に応じた避難場所を確認しましょう。

1 揺れによる危険と避難する場所

地震の揺れにはどんな危険があるのか、理解して対策しましょう。

揺れによる危険

首都直下地震が起こった場合、品川区ではほとんどの地域で**震度6強の揺れ**が起こると想定されています。

立っていることができず、はわないと動くことができない。



補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。



壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することが多くなる。



木造住宅の壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るもの、傾くものや、倒れるものが多くなる。



避難する場所

地震発生直後に、まずどこへ逃げればいいのかを確認しておきましょう。また、自宅が倒壊した場合などは、区民避難所で生活することになります。

一時(いっとき)集合場所

発災直後に、防災区民組織(町会・自治会)単位で一時的に集合して様子を見る場所。または、集団で避難するための身近な集合場所。学校の校庭、神社・お寺、公園、緑地、団地の広場などが防災区民組織ごとに決められています。

区民避難所

家屋が倒壊したり、火災による延焼のため自宅での生活が困難な場合、一時的に生活を送る場所。区立学校などの施設が地域単位で指定されています。

なお、地域の防災拠点となるため、在宅避難している人なども、避難先や必要な支援について、区民避難所へ伝えてください。



避難所での生活については50ページへ

NOTE!



地震のときの避難先は?

地震のとき、まず逃げる場所と、指定の避難所を調べて書きましょう。

防災地図 参照

一時集合場所

区民避難所

2 火災の危険と避難する場所

品川区は、延焼火災の危険が特に高い地域とされています。都の被害想定では建物被害の8割、死者の7割は火災によるものです。火災から身を守るための避難先もあらかじめ調べておきましょう。

避難する場所

火災で危険なときは、身近な広い公園などに避難しましょう。さらに延焼のおそれがある場合は、煙があがっている方向や風向きに注意しながら、早めの判断で広域避難場所へ逃げましょう。

広域避難場所

延焼火災から身の安全を守るために、一時的に避難する場所。大規模な公園、緑地、耐火建築物地域などのオープンスペースを都が指定しています。



地区内残留地区

延焼火災の場合にも、広域的な避難が必要ない区域。周辺の不燃化対策が進んでいる地区を都が指定しています。

NOTE!



最寄りの広域避難場所は？

最寄りの広域避難場所を記入しましょう。

防災地図 参照

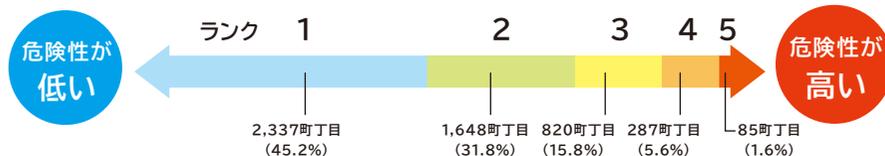
広域避難場所

CHECK! /



あなたの地域の危険度は？

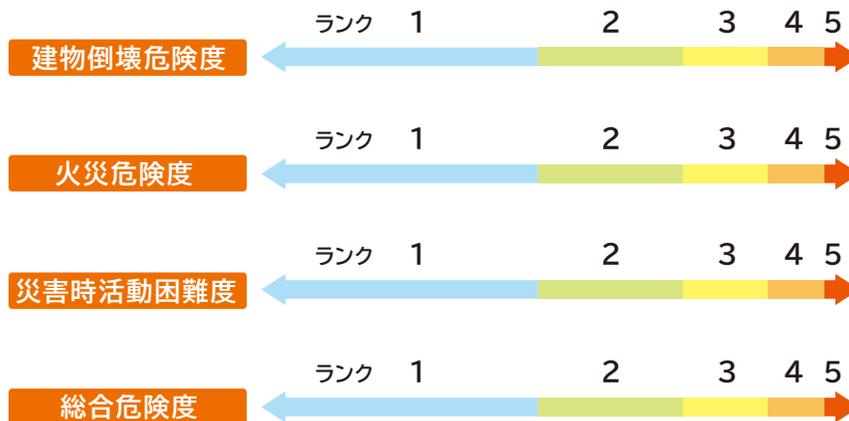
都は町丁目ごとの「地域危険度」を発表しています。これは、すべての町丁目直下の地盤で同じ強さの揺れが生じた場合の相対的な危険度を表すものです。それぞれの危険度について、5つのランクに分けられています。



※町丁目数は東京都全体の数です。

自宅周辺の地域危険度を調べ、項目ごとのランクに○をつけましょう。

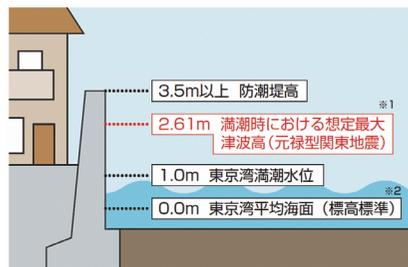
防災地図 > 品川区の地域危険度 参照



3 津波の危険と避難する場所

東京湾内湾は地形上大きな津波は発生しにくく、防潮堤や水門があるため、一定の安全は確保されています。しかし、水門が閉まらなかった場合などには、一部の地域で浸水する危険性が考えられています。

予想される津波の高さ 津波警報・注意報



※1「東京都の新たな被害想定について 首都直下地震等による東京の被害想定」(平成24年4月)のうち品川区に到達する最大の津波の高さ。
 ※2 東京湾では海拔と標高は同じ位を示します。

	予想される津波の高さ	
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現
大津波警報	10m 超(10m<高さ)	巨大
	10m (5m<高さ≤10m)	
	5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)

※発表される数値は、予想される津波の高さを5段階で示すものであり、標高とは異なります。

避難する場所

津波の場合は、最寄りの安全な高台へ避難することが基本です。避難する時間がない場合や、高台まで遠くて避難できない場合などは、津波避難施設や頑丈な建物の2階以上へ避難する「垂直避難」を考えましょう。

NOTE!



津波の危険性は？

自宅周辺に津波の危険性がある場合は、避難する場所を記入しましょう。

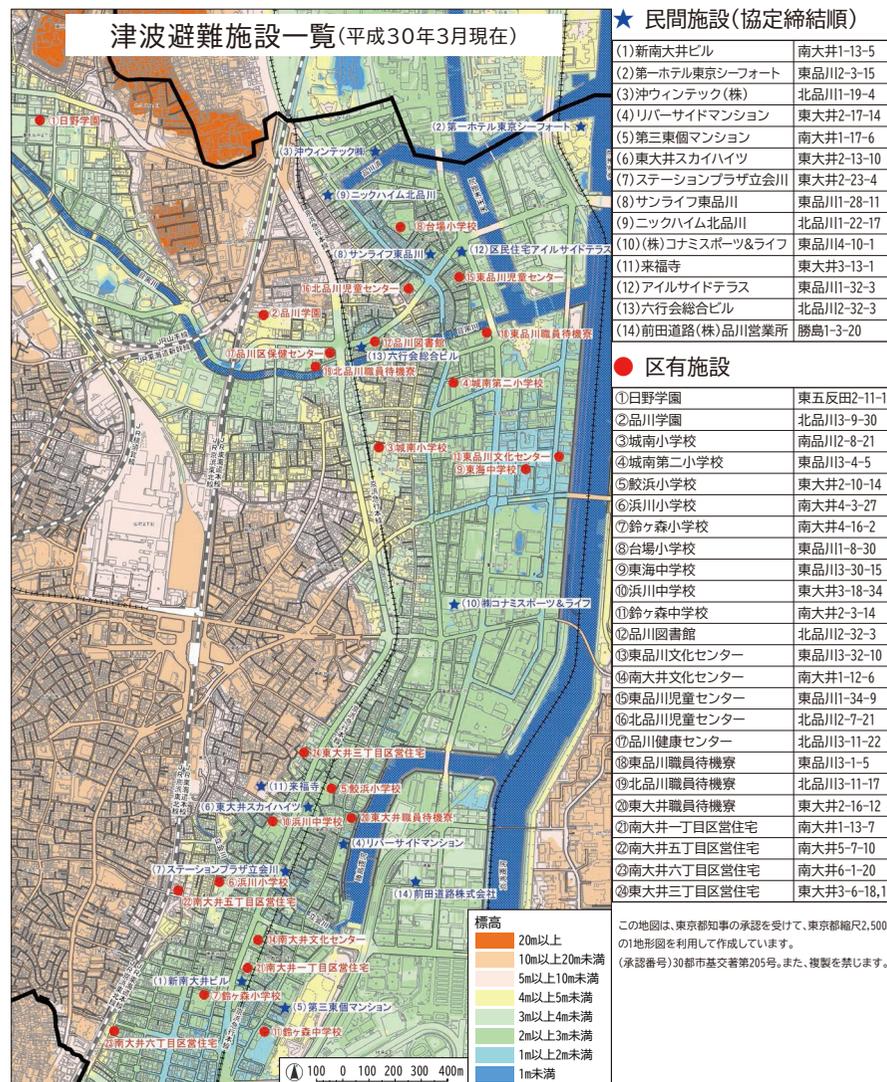
防災地図>津波ハザードマップ 参照

津波の危険	浸水: 有・無 ※有の場合は… 浸水深: _____ m
避難する場所	

津波避難施設

「津波警報」「大津波警報」が発表された場合、地域住民などが緊急に避難・退避する鉄筋コンクリート造などの堅牢(けんろう)な建物のことです。右の緑のマークが掲げられています。

津波避難施設は区のホームページからも確認できます。



★ 民間施設(協定締結順)

- (1)新南大井ビル 南大井1-13-5
- (2)第一ホテル東京シーフォート 東品川2-3-15
- (3)沖フインテック(株) 北品川1-19-4
- (4)リバーサイドマンション 東大井2-17-14
- (5)第三東個マンション 南大井1-17-6
- (6)東大井スカイハイツ 東大井2-13-10
- (7)ステーションプラザ立会川 東大井2-23-4
- (8)サンライフ東品川 東品川11-28-11
- (9)ニックハイム北品川 北品川11-22-17
- (10)コナミススポーツ&ライフ(株) 東品川14-10-1
- (11)来福寺 東大井3-13-1
- (12)アイルサイドテラス 東品川11-32-3
- (13)六行会総合ビル 北品川12-32-3
- (14)前田道路(株)品川営業所 勝島1-3-20

● 区有施設

- ①日野学園 東五反田2-11-1
- ②品川学園 北品川3-9-30
- ③城南小学校 南品川12-8-21
- ④城南第二小学校 東品川3-4-5
- ⑤鯉浜小学校 東大井2-10-14
- ⑥浜川小学校 南大井4-3-27
- ⑦鈴ヶ森小学校 南大井4-16-2
- ⑧台場小学校 東品川11-8-30
- ⑨東海中学校 東品川13-30-15
- ⑩浜川中学校 東大井3-18-34
- ⑪鈴ヶ森中学校 南大井2-3-14
- ⑫品川図書館 北品川12-32-3
- ⑬東品川文化センター 東品川13-32-10
- ⑭南大井文化センター 南大井1-12-6
- ⑮東品川児童センター 東品川11-34-9
- ⑯北品川児童センター 北品川12-7-21
- ⑰品川健康センター 北品川13-11-22
- ⑱東品川職員待機寮 東品川13-1-5
- ⑲北品川職員待機寮 北品川13-11-17
- ⑳東大井職員待機寮 東大井2-16-12
- ㉑南大井一丁目区営住宅 南大井1-13-7
- ㉒南大井五丁目区営住宅 南大井5-7-10
- ㉓南大井六丁目区営住宅 南大井6-1-20
- ㉔東大井三丁目区営住宅 東大井3-6-18,19

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を利用して作成しています。(承認番号)30都市基芸著第205号。また、複製を禁じます。

※津波の高さの標高がすべて浸水するわけではありません。(詳しくは、津波ハザードマップをご覧ください)

✓CHECK!✓

地震避難マップをつくろう!



大地震が発生したら、どの経路で避難先まで行けばいいのかわかると、「地震避難マップ」をつくりましょう。

1. 自宅周辺の地図を準備します

地震避難マップのもととなる地図を用意します。

2. 地図上で自宅を探し、赤色でしるしをつけます ●

3. 避難先に青色でしるしをつけます ●

避難先は災害の状況や目的などで変わってきます。以下の避難先を調べて記入しましょう。

- 一時(いつか)集合場所
- 区民避難所
- 広域避難場所
- 津波からの避難先

4. 危険な場所にしるしをつけます

以下の項目について、それぞれ、何の危険かわかるようにしるしをつけましょう。

<p>壊れるおそれ</p> <p>古いブロック塀/ 看板/ガラス窓/空き家</p> 	<p>火災のおそれ</p> <p>工場/木造密集地域</p> 
<p>液状化のおそれ</p> <p>川沿い/沼地/埋立地</p> 	<p>津波のおそれ</p> <p>低地で沿岸部</p> 
<p>路地・狭い道</p> 	

5. 災害時に活用できる施設や設備などにしるしをつけます ●

街頭消火器、AED、公衆電話、公衆トイレ、コンビニエンスストア、Free Wi-Fiスポットなど。

6. 避難経路を記入します

危険な場所を避けた避難経路を書きましょう。また、被害によりあらかじめ決めた道を通ることができない可能性もあります。複数の経路を記入しておきましょう。

(記入例)



7. まち歩きを行います

つくった地図をもとに、実際にまちを歩いてみましょう。また、見落としている危険はないかなど、確認してみましょう。非常持出品を持って歩いてみるのもおすすめです。

津波自主避難マップ

東日本大震災では想定以上の津波により未曾有の被害が発生しました。この大震災を教訓とし、品川区では「津波自主避難マップ」の作成の取り組みを進めています。

いざというときにすぐ行動がとれるよう、津波についても避難マップを作成しましょう。

※地図の作り方のマニュアルは、区のホームページで公開しているほか、河川下水道課窓口でもお配りしています。

4 情報の入手先

災害時は、不正確なうわさや根拠のない情報が流れることがあります。信頼できる情報源から、最新の正しい情報を入手するようにしましょう。

防災行政無線

緊急情報を、区内に設置してある屋外スピーカーで伝えます。

テレビ

品川区民チャンネル(地デジ11ch)では、通常放送画面に警報情報などを文字情報で発信しています。

ラジオ

災害時協力協定を結んでいるInterFM(89.7MHz)、コミュニティFM(88.9MHz)では区からの情報を伝えます。

緊急速報エリアメール

ドコモ、au、ソフトバンクの携帯端末を持っている区内滞在者に向け、緊急情報などをメール配信します。

※受信すると、緊急情報が端末画面に自動表示。アドレス登録は不要。

緊急情報発信ダイヤル

☎03-3777-2292に電話をかけると、防災行政無線などで発信した緊急情報を、音声で聞くことができます。

しながわテレビプッシュ

必要な情報を必要なタイミングで音声とテレビ画面でお知らせする、ケーブルテレビ品川の独自サービス。緊急情報などは自動的にチャンネルが切りかわり、またはテレビ電源がオフ状態でも電源が入り、配信します。

広報車

危険が予測される地域へ出動し、スピーカーから呼びかけるなどして伝えます。

防災タブレット

町会・自治会や区民避難所となる区立小・中・義務教育学校などへ配備しています。

しなメール(しながわ情報メール)

区によるメールサービス。区からのお知らせや、緊急情報・防災気象情報などから受け取りたい情報を選択できます。あらかじめ登録が必要です。



避難情報緊急通知コール

津波・浸水害・土砂災害の危険が想定される地域の方を対象に、区が避難に関する情報を電話やメールで通知するサービス。あらかじめ登録が必要です。



インターネット

品川区ホームページ

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>



品川区twitter

<https://twitter.com/shinagawacity>



品川区facebook

<https://www.facebook.com/city.shinagawa/>



東京都防災ホームページ

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>



東京都防災twitter

https://twitter.com/tokyo_bousai



内閣府防災ホームページ

<http://www.bousai.go.jp/>



内閣府防災twitter

https://twitter.com/CAO_BOUSAI



気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



気象庁twitter

https://twitter.com/JMA_kishou



2 家族で決めておこう



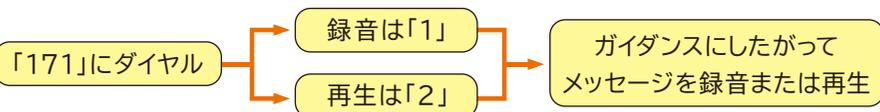
1 家族の安否確認

災害時は、電話がつながりにくくなります。家族の無事を確認するために安否確認の方法をあらかじめ複数用意しておくことがおすすめです。

音声通信を使う方法

災害用伝言ダイヤル171

災害時に、固定電話、携帯電話などから安否情報を音声で録音すると、全国どこからでもその音声を再生することができます。



※避難所には、災害時に無料で使える特設公衆電話が設置されます。

三角連絡法

被災地から離れた場所に住む家族や親戚、知人の家に電話して、安否確認や伝言を行う方法です。

インターネットを使う方法

災害用伝言板 web171

災害時に、安否確認を行うことができる、「web伝言板」です。

SNS (Twitter, Facebook, LINE)

普段から利用しているSNSを、安否確認や伝言を伝える手段として活用することができます。

\NOTE!\



家族との安否確認の方法は？

あらかじめ複数の安否確認方法を決めておきましょう。

安否確認方法1

安否確認方法2

2 家族の集合場所

家族が離ればなれになったときに備えて、集合する場所を決めておきましょう。

- できるだけ危険性がなく、安全に待機できる場所を選びましょう。
- 集合場所としては、近くの学校や公園などが考えられますが、「正門の前」や「遊具の前」など、待ち合わせ場所はできるだけわしく決めておきましょう。
- 集合時間を決めておくと、待ち続けなくてもよくなります。

\NOTE!\



家族で集まる場所は？

立ち入り禁止になる可能性や、多くの人が避難して入るのが難しくなる場合も考えて、家族で複数の集合場所を優先順位をつけて決めておきましょう。

家族の集合場所 優先順位1

家族の集合場所 優先順位2



\\CHECK!\\



防災カードをつくろう!

家族で決めたことを防災カードに記入しましょう。家族みんなの分をつくって、それぞれ持っておきましょう。携帯電話やスマートフォンなどのカメラで撮影しておくこともひとつの方法です。

家族の分は91・93ページへ

<記入例>

防災カード	氏名	防災 太郎		生年月日	1990年〇月△日	
	住所	品川区広町1丁目〇-△△		健康保険証の番号	01234567	
	血液型	〇型		アレルギー・持病・服用している薬	牛乳アレルギー	
	区民避難所	〇〇小学校		一時集合場所	△△公園	
	安否確認方法		家族の集合場所			
	1 災害用伝言ダイヤル171		2 三角連絡法(祖父の家)		1 △△公園の噴水前	
					2 〇〇小学校の正門前	
	緊急連絡先(家族・学校・職場等)					
	氏名・名称		住所・電話番号		備考	
	防災 花子		品川区荏原1丁目〇-△△ (080)〇〇〇〇-△△△△		母	

防災カード	氏名			生年月日		
	住所			健康保険証の番号		
	血液型			アレルギー・持病・服用している薬		
	区民避難所			一時集合場所		
	安否確認方法		家族の集合場所			
	1		2		1	
					2	
	緊急連絡先(家族・学校・職場等)					
	氏名・名称		住所・電話番号		備考	
			()			

地域の防災活動に参加しよう!

大きな災害のときは、区や警察・消防・自衛隊などの行政機関だけでは対応しきれません。そこで、「自分たちのまちは自分たちで守る」と考えて、日頃から地域の防災訓練に参加するなど、できることから取り組んでいきましょう。

防災区民組織

町会・自治会を母体に防災活動を行う組織で、区内では200の防災区民組織が、ポンプ操法などの初期消火や応急救護の訓練、子ども向けの防災イベントなど、年間を通じて積極的に活動しています。



中延一丁目町会防災区民組織 防災イベント

地区防災協議会

地域が一体となって防災活動を進めるため、13地区(地域センター単位)に防災協議会を設置しています。毎年9~11月の総合防災訓練をはじめ、防災施設の見学会や在宅避難の啓発など、地区ごとにさまざまな取り組みをしています。

要配慮者の支援体制づくり

ひとりで避難することが難しい方の避難誘導訓練や個別計画作成など、地域でも要配慮者の支援体制づくりが進められています。



二葉中央町会防災区民組織 避難誘導訓練